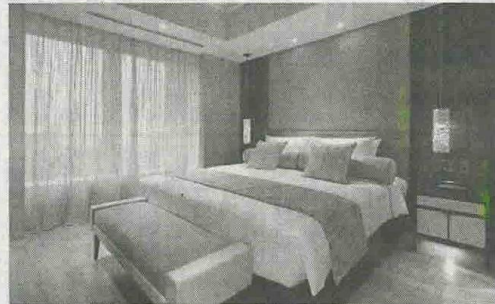


東京・大手町に相次いで高級宿泊施設が進出している。シンガポールのサービスアパートメント運営世界大手、アスコットは30日、最高級ブランド「アスコット」の1号店を開く。大手町はビジネス街として知名度が高いが、観光拠点としても注目が集まりつつある。新興ホテルは「長期滞在」や「旅館」という特徴を明確に打ち出し、多様化する富裕層のニーズをすくい上げる。

大手町 ホテル多彩



長期滞在向けや高級旅館

の内東京」は、高級住宅のような趣がある。標準タイプの客室の宿泊料金は1泊4万7千円（税・サービス料別）、1カ月だと63万円（消費税別）を想定。ホテル内はシンガポール料理のレ

ストランや都心のビル群を望むプールを設けた。大手町では高級ホテルの進出が相次ぐ。カナダ系高級ホテルのフォーシーズンズ・ホテルズ・アンド・リゾーツは建設中の再開発ビルに出店す

ビジネス＋観光に商機

中長期滞在向け「アスコット丸の内東京」の客室はキッチンや洗濯機を備える

る。客室は約190室で、2020年の開業をめざす。星野リゾートは昨年7月、高級旅館「星のや東京」を開いた。料金は1泊1室7万8000円から（食事別）だ。

高級感のある宿泊施設の新設が相次ぐのは、大手町が観光の拠点としても注目されつつあるためだ。出張で海外を訪れる際に観光を楽しむトレンドが欧米を中心に広がり、外資系の富裕層向けにビジネスホテルの開業ラッシュで競争は激しさを増している。

「海外に出張するとき

に家族を連れて行くことがある」。新施設の開業に合わせて来日したアスコットのリー・チャー・クン最高経営責任者（CEO）もその一人だ。リー氏は「キッチンなどの設備はレジャーを兼ねたビジネス需要に適している」と自信を見せる。